令和６年度黎明杯のご案内

第十二代黎門会会長　河添 直樹（58A）

黎門会会員におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます．長きに渡ったコロナ禍も収束し日常が戻って参りました．群馬大学弓道部，黎門会もコロナ禍で中断せざるを得なかった活動を再開し，昨年１２月には４年ぶりの総会を各位のご協力により開催することができました．弓道部も本年は２０名を超える新入部員が入部し活動を活発化させております．

そこで，会員相互および現役部員との懇親を図るべく，黎明杯を以下の通り開催いたします．お盆休みの後半ではございますが，会員と現役部員とが共に弓を引き，その姿を見学することは，黎門会の活動として大変意義深いものと存じます．ふるってご参加頂きますようお願い申し上げます．

記

日時：令和６年８月１７日（土）正午～１６時
終了後，別途実費にて懇親会をいたします．昼食は各自おとりになりご来場ください．

場所：群馬大学桐生キャンパス　遊神館道場

会費：一口 2,000 円（最大 10 口）を下記 Peatix（ピーティックス），東和銀行への振り込み，または現地にてのお支払いをお願いいたします．

Peatix：https://gundai-kyudo-r6reimeihai.peatix.com/

Peatix を初めてお使いの際にはアカウント作成が必要です．使い方ガイド↓
https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/solutions/articles/44001821734

東和銀行桐生支店：普通　口座番号 3096697　群大弓道部黎門会記念事業基金

出欠：出欠につきましては，下記フォームまたは郵送にてご案内の方は同封の返信用はがきにて７月末日までにご返信ください．
https://forms.gle/afKMjr71WqByomDh6

備考：現役学生は，翌日より３日間の夏合宿に入ります．激励，差し入れも歓迎いたします．
また，令和６年度の黎門総会を 12 月 14 日（土）13:00 から東京，大岡山にて予定しております．ご予定をお願いいたします．

以上

安土整備，新入部員練習用弓のためのご寄付のお願い

第十二代黎門会会長　河添 直樹（58A）

コロナ禍は弓道部にも多くの影響を与えましたが，中でも遊神館道場の安土は日当たりの良い南側に安土面が面しており，コロナ禍における活動休止期間に乾燥と崩落が進み，現役部員による，いわゆる「安土崩し」による整備では修復困難な程の傷みを生じております．様々なつてをたどり，現役部員，会員有志による労力提供も申し出て整備費用の削減に取り組みましたが，最低３０万円程度の予算が必要です．これまでに群馬大学工業会にもご支援を要請し，１５万円の支援のお約束も取り付けております．そこで，黎門会といたしましても，残りの１５万円を目標にご寄付をお願い申し上げます．

また，今期は現役学生の勧誘活動も功を奏し，２０名を超える新入部員が入部いたしましたが，練習に使える弱い弓（概ね 12kg 以下）が不足しております．こちらも上記ご寄付が目標金額を上回れば購入を検討しております．併せて，もしご不要になりました弓がございましたら下記要領にてご寄贈頂き後輩の練習用の弓として大切に使わせて頂きます．

コロナ禍にも負けず弓道部の活動を継続してくれている現役部員を応援するために，お力添えを何卒お願い申し上げます．

記

ご寄付については，一口 3,000 円より最大 10 口まで下記 Peatix（ピーティックス），東和銀行への振り込み，または現地にてお支払いをお願いいたします．

Peatix：https://gundai-kyudo-r6reimeihai.peatix.com/

Peatix を初めてお使いの際にはアカウント作成が必要です．使い方ガイド↓
https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/solutions/articles/44001821734

東和銀行桐生支店：普通　口座番号 3096697　群大弓道部黎門会記念事業基金

弓の現物のご寄贈については，下記，瀧上前会長のお宅へ，着払いで結構ですのでお送りください．弓は段ボールにて十分に梱包してください．長物を発送できるサービスとしては，佐川急便の飛脚ラージサイズ宅急便か，西濃運輸のカンガルー特急便で発送可能です．佐川急便の方がお安く発送可能で送料は凡そ 5,000 円程度です．黎明杯や黎門総会時にご持参頂いても結構です．

〒376-0053　群馬県　桐生市東久方町 1-2-23　瀧上　昭治宛
TEL：0277-22-5508

以上

令和 6 年 6 月吉日

群馬大学全学弓道部
卒業生の皆様

安土修復資金及び弓のご寄付のお願い

群馬大学全学弓道部一同

群馬大学全学弓道部卒業生の皆様、向暑の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

近年、桐生キャンパス弓道場の安土の劣化と減少が激しく、部員のみでの安土の修復が困難となっています。コロナ下での活動休止期間中に十分な安土整備を行うことができなかったことが主な原因と考えられますが、先輩方が整備して頂き受け継いできた安土の十分な維持ができず大変申し訳ありません。例年の部員自身による安土の補充と整備では崩れた状態での現状維持が限界であることから、一度業者の方に修復していただくことを検討しております。しかし、地元を含め関東近県の複数の業者に見積もりを取り検討しましたが、安土の修復には、現役部員の労力を提供しコスト削減につとめても約 30 万円以上の金額が必要であることが判明しました。つきましては、誠に恐縮ではございますが、安土修復にご賛同頂き、ご協力を賜りたく、ここに略儀文面にて失礼ながら、お願い申し上げる次第でございます。

先輩皆様のご支援と、我々の勧誘が功を奏し、今年は例年の約 2 倍の 23 人の 1 年生が入部しました。部員の増加に伴い練習用の弓が不足している状況にあります。現在練習用の弓は 13~11kg 伸 4 本、並 6 本、10kg 以下伸 2 本、並 6 本となっております。特に最近は初心者の部員が増えており、上記のように 12kg 以下の弓力の低い弓が人数に比べて少ない状態です。これからも部活動として、より一層の活性化をするためにもご使用にならなくなった弓のご寄付を何卒お願い申し上げます。

皆様のご厚意を受け、群馬大学全学弓道部の今後の抱負といたしまして、男子は公式大会での上位入賞、女子は秋季リーグ戦一部昇格を目指して精進しております。何卒応援のほどよろしくお願いします。また，ご寄付を頂いた方のご芳名は、ご希望を伺った上で道場やご寄付頂いた弓に銘板として明記し、ご厚情への御礼とさせて頂きたいと考えております。

文責：桐生部長　玉利誠也